2006年度夏季合宿報告

・9月5日（火）天気：晴れ

時間	主な活動
09：30	豊橋班　豊橋駅出発（乗用車3台）。他に名古屋班10:30出発（乗用車1台）。
12：00	郡上市到着。各自昼食の後、岩崎模型製造㈱駐車場に集合。
13：00	**岩崎模型製造㈱**（イワサキ・ビーアイ［本社東京］を中核とするいわさきグループ企業の一つ。郡上八幡出身の岩崎瀧三氏が大阪、つづいて東京に蝋を材料とする食品サンプル会社を設立したのが事業のはじめ。郡上市には総合研究所もある。）の体験コーナーで食品サンプルづくり。その後、佐藤社長から説明を受ける。食品サンプルの材料には、30年ほど前から合成樹脂が使われているとのこと。いわさきグループは国内市場シェア約45%を占める。

岩崎模型(1)

岩崎模型(2)

岩崎模型(3)

18：00	郡上市内見学後、せせらぎ街道をドライブして旧明宝村（現在は郡上市）にある旅館「愛里」に到着。途中、名馬「麿墨(するすみ)」の銅像を観る。夕食には特産「明宝ハム」を食べる。

郡上八幡城

明宝の宿(1)

明宝の宿(2)

・**9月6日（水）**天気：曇り

10：00　美濃市の**澤村正・本美濃和紙工房**訪問。本美濃和紙は1969年に重要無形文化財に指定された。本美濃和紙の生産者は二戸しか残っていないという。本美濃和紙の条件は、①原料として那須楮を使用、煮熟に草木灰またはソーダを使う、②こう解は手打ちまたはこれに準じた方法で行なう、③ねりにトロロアオイを使用し、流し漉きをする、④板干しにより乾燥する、ことである（杉山静「美濃和紙の現状と課題」）。澤村工房を訪問するのは2002年につづいて2度目。

澤村工房(1)

澤村工房(2)

澤村工房(3)

12：00　**美濃和紙会館**で昼食後、紙漉き体験。

美濃和紙会館(1)

美濃和紙会館(2)

美濃和紙会館(3)

14：00　関市にある**協同組合岐阜県刃物会館**で、関市商業観光課の桜田氏から関刃物産業についての講義を受ける。その後、**関鍛冶伝承館**で日本刀の製造工程や作者ごとの特徴についてのお話を聞く。

刃物会館(1)

刃物会館(2)

関鍛冶伝承館

18:00　土岐市の「ビジネスホテル土岐」に到着。

土岐(1)

土岐(2)

土岐(3)

・9月7日(木)天気:曇り

09:45　多治見市南部にある市之倉にある窯元、㈱千窯に到着。
10:00　**㈱千窯**(1967年設立、資本金5000万円、1945年設立の片山製陶所が前身)の片山社長から説明を受け、工場見学。

千窯(1)

千窯(2)

千窯(3)

岐阜県陶磁資料会館のとなりにある**岐阜県陶磁器工業協同組合連合会**

13:00　の坂崎専務理事から美濃焼の歴史、美濃焼きの製造工程、美濃産地の現状についてのお話を聞く。その後、資料館を見学して豊橋へ向かう。

組合(1)

組合(2)

組合(3)

17:00　豊橋駅到着、解散。